

MA-WH114シリーズ



- 最初に
ご確認ください
- マウス本体 …… 1台
 - 直付けレシーバー …… 1台
 - 単4電池(テスト用) 2本
 - 取扱説明書 …… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

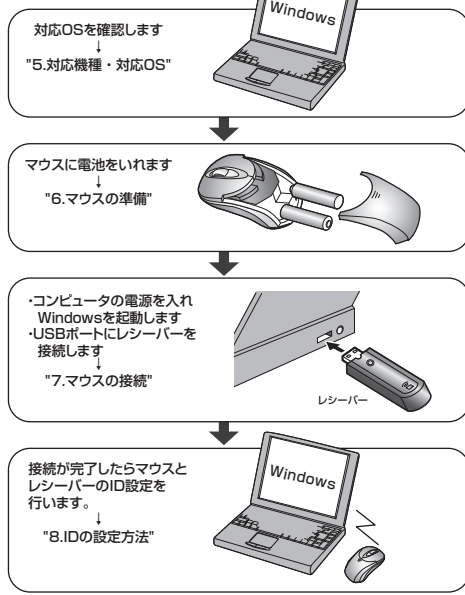
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。 サンワサプライ株式会社

目次

1. ワイヤレスマウスの接続手順
2. 特長
3. 警告
4. 健康に関する注意
5. 対応機種・対応OS
6. マウスの準備(電池の入れ方)
7. マウスの接続(USB接続の場合)
8. IDの設定方法
9. 電源のON/OFF
10. 本製品の使用方法
11. ご使用上の注意
12. 「故障かな…」と思ったら
13. 保証規定

1. ワイヤレスマウスの接続手順

■マウスを接続するポートにより異なります(詳細は各項目をご覧ください。)



4. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないよう心がけてください。

5. 対応機種・対応OS

- 対応機種
●Windows搭載パソコン
各社DOS/V/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ
●Apple iMac, iBook, Power Mac G5-G4-G3シリーズ
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS
●USB接続:Windows 7-Vista-XP-2000-Me-98SE-98及びMac OS X(10.2以降)
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストワード及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

7. マウスの接続(USB接続の場合)

■本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つかない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際も必ず、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(Windowsの場合)

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバーのダウンロード
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポート&ダウンロードコーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社Webサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

- サンワサプライ株式会社 2009.10現在
- 岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 - 東京 サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-6-5 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 - 札幌営業所 / 〒060-0907 札幌市北区北7条西5丁目5-10 アマゾン札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 - 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 - 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 - 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区富原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 - 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前9-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

2. 特長

この度は、ワイヤレス オプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔にならないといった煩わしがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。
本製品は、直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ。電池式なので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わないオプティカル方式(光学式)で、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないとといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。
本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。
※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

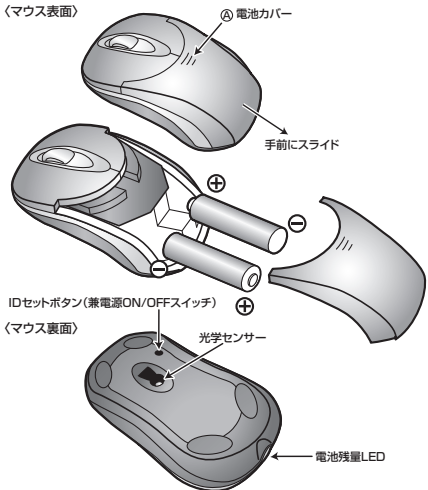
3. 警告

- テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試ください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

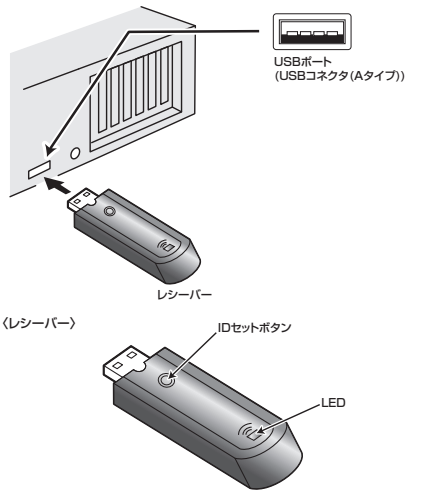
6. マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウスの電池カバー(⑥)を押しながら、手前に引いて取外してください。マウスに付属の単4乾電池2本入れ、電池カバーを取外したとは逆の手順で取付してください。電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)
2. マウス裏面の光学センサーが光っている事を確認します。もし光学センサーが光っていない場合は、電池の方向を確認してください。
3. 電池の残量が少なくなると、電池残量LEDが点滅します。
※マウスの電池寿命は、通常の使い方において約3週間〜が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単4アルカリ乾電池をご使用ください。



■レシーバーを接続(Windowsの場合)

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了しておくことをお勧めします。
① コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



7.マウスの接続(USB接続のつづき)

- ①自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
- ②Windows 7の場合
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
- ③Windows Vistaの場合
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
- ④Windows XP/2000-Meの場合
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
- ⑤Windows 98/98SEの場合
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザード



- 新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス——次へ



- 検索方法を選択してください。
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ——次へ



- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ——次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、
 検索場所の設定(L) ※

もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONSCABS
ドライブC:Windows Me等のCD-ROMを挿入し、 CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ——次へ



- USBヒューマンインターフェイスデバイス——完了

※接続が完了したら、「8.ID設定方法」へ。

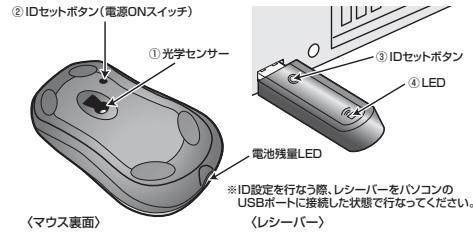
■USBポートによる接続(Mac OS Xの場合)

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
- ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
- ③接続が完了したら、ID設定を行います。「8.IDの設定方法」参照

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

8.IDの設定方法 ID設定はパソコンにマウスを識別させる作業です。

レシーバーの接続が完了したら、マウス/レシーバーのID設定の確認作業を必ず行ってください。



ID番号を設定する前に①(マウスの裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。

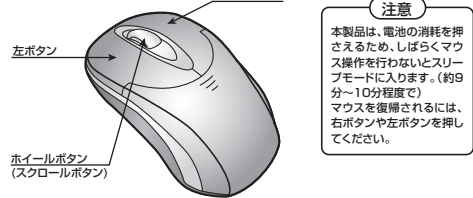
- もし点灯していない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。
- 1.ペン先等を使って③(レシーバーのIDセットボタン)を押します。
 - 2.④(レシーバーのLED)が点灯します。
 - 3.④(レシーバーのLED)が点灯している間に②(マウスのIDセットボタン)を1回だけ押し続けてすぐに離します。
 - 4.④(レシーバーのLED)が消灯したら、ID設定は完了です。
 - 5.マウスを動かした際、④(レシーバーのLED)が点滅します。
- ※IDは1~256通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。
- ※パソコンによっては、電源上げ時にこのID設定を行なう必要がある機種があります。

9.電源のON/OFF

マウスの左右ボタンを同時に5秒ほど押すと、光学センサーが消灯し、電源がOFFになります。この作業を行う際は、必ずマウスをテーブルの上に置いている状態でボタンを押してください。手に持ったままこの作業を行った場合、電源がOFFにならないことがあります。電源をONにするには、②(電源ONスイッチ)を5秒押ししてください。光学センサーが点灯します。

10.本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができます。Windows上よりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



注意
本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。(約9分~10分程度で)マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。

■左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

■ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

■ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を要することです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

11.ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

■WindowsMeで本製品をお使いにならない場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の「ポインタの加速度(A)のチェックマーク(☑)を外してください。(Windows2000の場合「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

■WindowsMe/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



12.「故障かな...と思ったら」

- Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。**
- 1.マウス裏面の光学センサーが光ってない場合、スリープモードに入っている場合がありますので、右ボタンや左ボタンを押してください。また、電池が正しく挿入されているか確認してください。(「6.マウスの準備」参照)
 - 2.レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は「8.IDの設定方法」参照)
 - 3.電池残量LEDが点灯している場合、電池寿命の合図です。また、電池残量LEDが点灯してなくても、光学センサーが光らなくなった場合、電池寿命がもしませんので、電池を交換してみてください。付属の電池(単四乾電池×2本)はテスト用です。(「6.マウスの準備」参照)
 - 4.光学センサーが点灯していない場合、電源のON/OFFスイッチを一度軽く押ししてみてください。
 - 5.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

- Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスが全く動かない。**
1. 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。

- Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。**
1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
 2. 他のワイヤレスマウスと混用している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。
 3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.8mの間で使用ください。
 4. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
 5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
 6. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

- Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーパーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった**
1. ハイカーモードを選択してください。
 2. トゥルーパーハイカーでは、CPUからデータを送るのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

13.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ①保証書をご提示いただけない場合。
 - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による故障または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。